

株主の皆様へ

第51期 年次報告書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

株式会社 **オービック**

証券コード:4684

「社員の成長が会社の成長になる」を基本姿勢に、 創立50周年を起点に、さらなる成長を目指します。

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。当社の第51期の事業をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

おかげさまで本年4月8日、オービックは創立50周年を迎えることができました。この記念すべき年をより良い経営状況で迎えるため、当期も社員一人ひとりが、自らの生産性を高め、お客様満足度の向上に全力を傾けてまいりました。その結果、当社事業の全セグメントにおいて増収・増益を達成し、当連結会計年度の連結業績は、24期連続の営業増益を達成いたしました。

当社のビジネスモデルの根幹は、自社開発・直接販売にこだわり、顧客満足度を追求する「ワンストップ・ソリューション・サービス」です。導入コンサルティング・システム構築・アフターフォローの全プロセスを、自社一貫体制でお任せいただくためには、そのすべての工程に活躍する優秀な社員が不可欠です。そこで当社は、「社員の成長が会社の成長になる」という信念のもと、新卒採用を原則とし、徹底した教育・研修により能力を伸ばすことに注力してきました。また、自社開発を通じて数多くの特許技術が生まれ、独自の商品・サービスの提供につながっています。こうした当社の事業姿勢は、おかげさまでマーケットからもご評価いただき、あらゆる業種・業界において「OBIC7シリーズ」をはじめとする当社のソリューションは、お客様の厚い信頼を獲得しています。

働き方改革をはじめ、生産性向上を目的とするIT投資が活発化する中、当社の統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」やネット経由でシステムを利用するクラウドサービスに対する反響は日増しに高まっています。

これからも、お客様の企業価値・経営効果を高めるため、当社は進化・成長を続けてまいります。今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長／CEO

野田 順弘



代表取締役社長／COO

橘 昇一

創立50周年を迎えて

当社は今年、皆様のご支援のもと、創立50周年を迎えることができました。

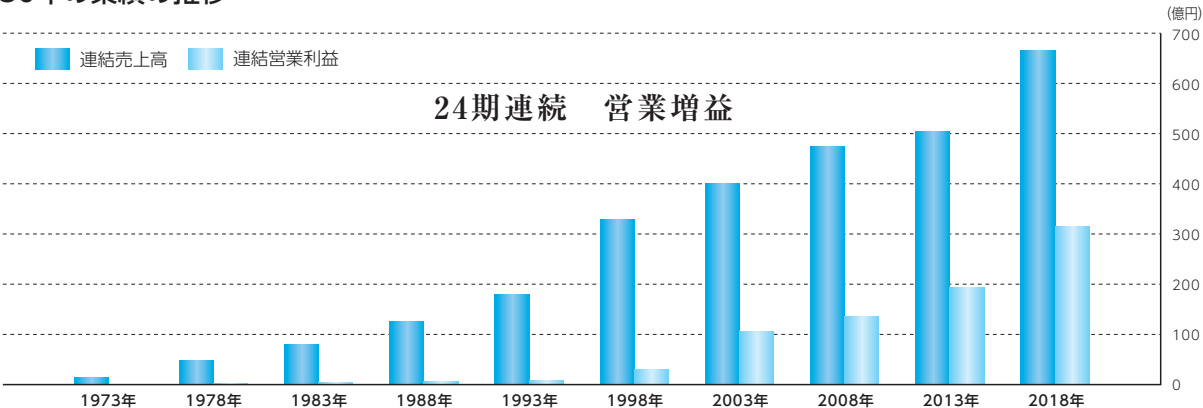
絶え間ない変革が求められる時代において、お客様とダイレクトに触れあい、ともにお客様の経営課題に向き合うことこそが、「お客様第一主義」を掲げる当社の使命であると確信しております。

初心を忘れず、長期展望のもとにお客様の情報システムの包括的なサポートを通じ、お客様の新たな企業利益の創造をご支援することで社会貢献に努めてまいります。

当社の直近10年の歩み (2008年～2018年)



50年の業績の推移



事業概況／ワンストップ・ソリューション・サービス

オービックのビジネスモデル 「ワンストップ・ソリューション・サービス」。

導入コンサルティングからシステム開発・構築、運用・サポート、さらに情報システム全体を支えるクラウド環境までの一切を、自社一貫体制でトータルサポート。創業以来「お客様第一主義」に徹し、オービックが長年育んできた「ワンストップ・ソリューション・サービス」は、独自のビジネスモデルとして、高い評価をいただいています。

1 自社開発・直接販売

お客様と直接向き合うことで、お客様のニーズの変化をタイムリーに把握し、常に最適なソリューションを提供します。

2 自社一貫体制

導入コンサルティングから、システム構築、稼働、導入後のサポート・情報提供まで、IT活用のすべてを自社一貫体制でお届けします。

3 会計を軸とするERP

会計を中心に全ソリューションが共通基盤上で高度に連携。統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、戦略的事業統合や再編を行う企業グループからも高い評価を得ています。

4 クラウドサービス

豊富なソリューションのすべてをクラウドでも提供可能です。自社運営のクラウドセンターが、短期導入・早期稼働・長期安定運用を支え続けます。

5 業界・業種対応

創業以来50年間にわたり、幅広い業界・業種のお客様の業務改善・システム構築に携わってきた豊富な経験と実績を活かし、お客様の業種特有の課題にも常にベストな解決策を提案します。



6 価値ある情報提供

情報システムセミナーやサポートサイト、ホームページなどを通じ、業務改善や経営改革に役立つ、最新の情報を提供しています。

7 フラットでオープンな組織

営業・SE・サポートが連携してお客様と向き合う「フラットでオープンな組織体制」により、お客様のスピーディーな課題解決をサポートしています。

主力製品／統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」

国内ERP累計導入社数15年連続 No.1。
統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」。



◎ あらゆる業界・業種の持続的成長に貢献。

「OBIC7シリーズ」は、「会計」を中心とする基幹系システムと、豊富な業種・業務向けソリューションとの自在な連携により、それぞれの企業に最適な業務統合と効率化、全体最適化をスピーディーに実現します。しかも、その双方をクラウドサービスでも提供。短期導入・早期稼働により、業務プロセス全体の標準化・効率化を推し進め、「経営管理の強化」と「経営効果の最大化」に貢献しています。

◎ お客様満足度の証。ユーザー企業20,000社を突破。

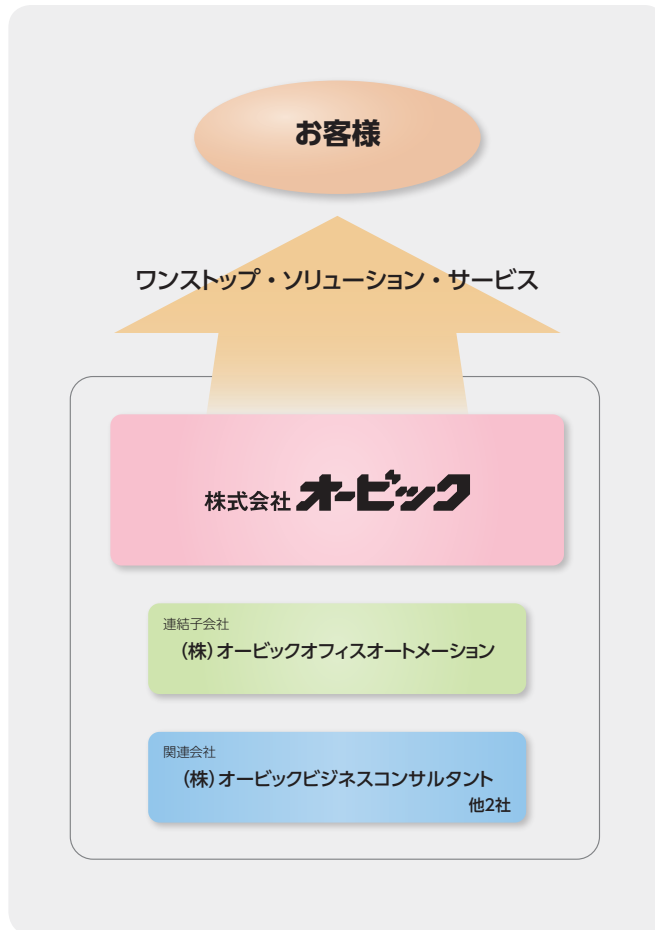
統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、1997年の発売以来、あらゆる業界から圧倒的なご支持をいただき、導入企業は20,000社を突破。国内ERP累計導入社数15年連続No.1^(※)に輝いています。また、同調査における中堅・大手市場の売上高ランキングも21.9%のシェアで第1位を獲得しました。今期も、大手企業から中堅・中小企業まで、業種を問わず多くのお客様に導入いただきました。

※2002年～2016年国内ERP主要ベンダー（ライセンス売上高シェアトップ10）における累計導入社数 ㈱矢野経済研究所調べ 2016年12月現在。

当社グループの営業の概況

当社グループは、株式会社オービック(当社)および連結子会社1社ならびに関連会社3社等により構成されており、事業は主に企業情報システムのシステムインテグレーション(SI)事業、システムサポート(SS)事業、オフィスオートメーション(OA)事業および業務用パッケージソフト(PKG)事業を行っております。

◎ オービックグループ



◎ 営業の概況

当情報サービス業界においては、システムの統合や更新需要の増加等により、企業のシステム投資は回復傾向が見られます。引き続き企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、さらなる顧客目線でのシステム提案が求められております。

当社は、このような状況の中、製販一体体制を継続し、顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。当社の主力である統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に幅広く求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が引き続き順調に推移しております。業種・業務別のソリューションに関しても、金融業向け、サービス業向け、流通業向け、製造業向け等、業種を問わずシステム構築の引き合いが強まりました。高まりつつあるクラウドコンピューティングのニーズにも、顧客に合わせた提案で対応しております。また、システムサポート事業も安定的に伸長し、業績に寄与いたしました。

この結果、当連結会計年度の連結業績は、売上高668億14百万円(前年同期比8.7%増)、営業利益323億25百万円(同16.1%増)、経常利益は355億70百万円(同10.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は262億68百万円(同12.5%増)となりました。

今後も当社は、顧客第一主義のもと、よりコストパフォーマンスの高いシステム提案ビジネスに注力し業績の向上に努めてまいります。

◎ セグメントの業績

■システムインテグレーション(SI)事業

主力の統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が引き続き順調に推移しております。

この結果、外部顧客に対する売上高は352億91百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益は168億41百万円(同12.8%増)となりました。

■システムサポート(SS)事業

主力サービスであるシステムの「運用支援サービス」および「クラウドソリューション」が好調に推移いたしました。

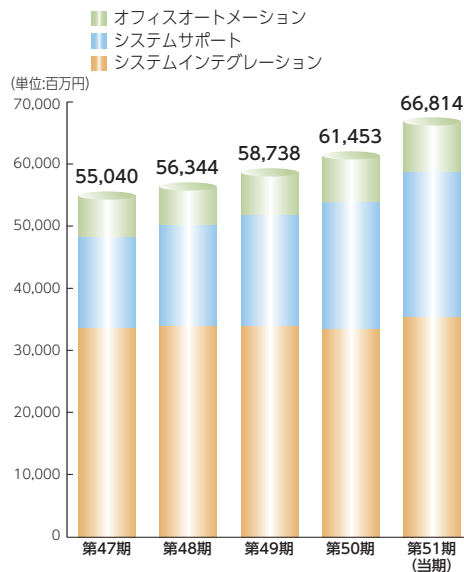
この結果、外部顧客に対する売上高は234億24百万円(前年同期比14.5%増)、営業利益は143億23百万円(同20.8%増)となりました。

■オフィスオートメーション(OA)事業

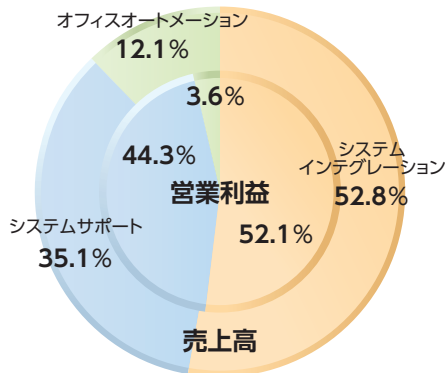
主力の業務用パッケージソフトの販売に加え、印刷サプライやオフィス家具等の販売も堅調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は80億98百万円(前年同期比7.3%増)、営業利益は11億59百万円(同9.9%増)となりました。

◎ 売上高



◎ 売上高／営業利益構成



連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

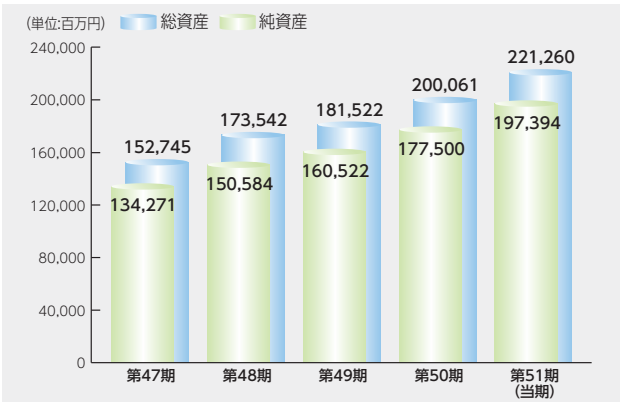
(単位:百万円)

科目	期別	前期	当期
		(平成29年3月31日現在)	(平成30年3月31日現在)
資 産 の 部			
流動資産		110,074	120,668
現金及び預金		98,121	109,458
受取手形及び売掛金		9,520	8,795
その他		2,432	2,415
固定資産		89,987	100,591
有形固定資産		31,259	37,814
建物及び構築物		3,022	2,994
土地		27,220	27,849
その他		1,017	6,970
無形固定資産		78	112
投資その他の資産		58,649	62,665
資産合計		200,061	221,260

(単位:百万円)

科目	期別	前期	当期
		(平成29年3月31日現在)	(平成30年3月31日現在)
負 債 の 部			
流動負債		15,566	16,671
固定負債		6,993	7,193
負債合計		22,560	23,865
純 資 産 の 部			
株主資本		173,831	191,649
資本金		19,178	19,178
資本剰余金		19,530	19,530
利益剰余金		157,260	175,078
自己株式		△ 22,137	△ 22,138
その他の包括利益累計額		3,669	5,745
その他有価証券評価差額金		5,373	7,406
土地再評価差額金		△ 1,705	△ 1,705
退職給付に係る調整累計額		1	44
純資産合計		177,500	197,394
負債及び純資産合計		200,061	221,260

総資産／純資産



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	前期	当期
		(平成28年4月1日～ 平成29年3月31日)	(平成29年4月1日～ 平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		21,311	26,107
投資活動によるキャッシュ・フロー		2,314	△ 6,320
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 8,005	△ 8,450
現金及び現金同等物の増減額		15,619	11,336
現金及び現金同等物の期首残高		82,502	98,121
現金及び現金同等物の期末残高		98,121	109,458

◎ 連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

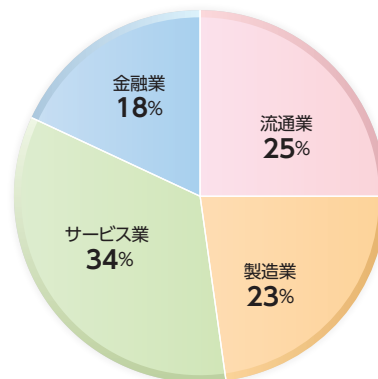
科目	期別	前期 (平成28年4月1日～ 平成29年3月31日)	当期 (平成29年4月1日～ 平成30年3月31日)
売上高		61,453	66,814
売上原価		21,613	22,296
売上総利益		39,839	44,517
販売費及び一般管理費		11,989	12,192
営業利益		27,850	32,325
営業外収益		4,506	3,357
営業外費用		110	111
経常利益		32,246	35,570
特別利益		214	888
特別損失		15	133
税金等調整前当期純利益		32,445	36,325
法人税等		9,085	10,057
当期純利益		23,359	26,268
非支配株主に帰属する当期純利益		—	—
親会社株主に帰属する当期純利益		23,359	26,268

◎ 連結株主資本等変動計算書 (要旨)

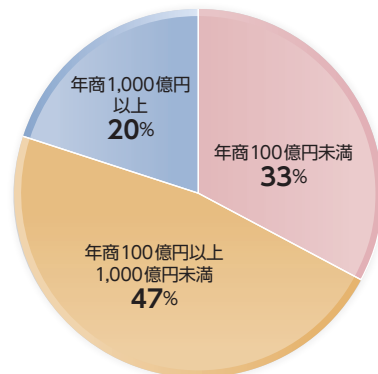
当連結会計年度 (平成29年4月1日～平成30年3月31日) (単位:百万円)

純資産合計	
平成29年4月1日残高	177,500
連結会計年度中の変動額	
剰余金の配当	△ 8,450
親会社株主に帰属する当期純利益	26,268
自己株式の取得	△ 0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額 (純額)	2,076
連結会計年度中の変動額合計	19,894
平成30年3月31日残高	197,394

◎ 販売先情報 (業種別)



◎ 販売先情報 (規模別)



会社概況 (平成30年3月31日現在)

社 名 株式会社オービック
設 立 昭和43年4月8日
資 本 金 191億7,880万円
社 員 数 2,034名(連結)
主要事業 システムインテグレーション事業
システムサポート事業
オフィスオートメーション事業

事 業 所 ●東京本社
〒104-8328 東京都中央区京橋2-4-15
TEL:03-3245-6500 FAX:03-3245-6595
●大阪本社
〒541-0059 大阪市中央区博労町3-5-1
(御堂筋グランタワー)
TEL:06-6245-3231 FAX:06-6245-1946
横 浜 支 店 名古屋支店 京 都 支 店
福 岡 支 店 北関東支店
松本営業所 静岡営業所 広島営業所

役 員 (平成30年6月28日現在)

代 表 取 締 役 会 長	野 田 順 弘
代 表 取 締 役 社 長	橘 昇 一
常 務 取 締 役	川 西 篤
取 締 役 相 談 役	野 田 みづき
取 締 役	藤 本 隆 夫
取 締 役	井 田 秀 史
取 締 役	上 野 剛 光
取 締 役	佐 藤 登 昌
社 外 取 締 役	五 味 康 昌
社 外 取 締 役	江 尻 隆
常 勤 監 査 役	小 屋 町 朗
社 外 監 査 役	坂 和 章 平
社 外 監 査 役	長 尾 謙 太

株式の状況 (平成30年3月31日現在)

●発行可能株式総数 398,400,000株
●発行済株式の総数 99,600,000株
●株主数 3,171名
●外国人持株数 36,542,930株
●少数特定者持株数 59,078,480株
●浮動株数 1,652,633株
(1単元以上50単元未満の合計)
●投資信託株数 3,777,000株
●年金信託株数 873,700株

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ノダ・マネジメント	16,909	19.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	7,361	8.27
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	5,380	6.04
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	4,685	5.26
資産管理サービス信託銀行株式会社	3,084	3.46
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,961	3.32
野田 順弘	2,881	3.23
野田 みづき	2,781	3.12
ジェーピー モルガン チェース バンク 385632	2,206	2.48
ジェーピーモルガンチエース オツペンハイマー ジャスデック レンディング アカウント	1,787	2.00

(注) 1.当社の所有する自己株式10,649千株は、上記の表には含めておりません。
2.上記信託銀行の所有株式数には、信託業務に係る株式を含んでおります。
3.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主 確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行う 公告掲載 URL http://www.obic.co.jp

(注) 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日付にて上記のとおり変更しております。

市場拡大を視野にクラウドセンターを新設

近年、急成長するクラウドサービスのニーズに応え、より充実した機能やサービス提供環境の整備を目的に、新たに「クラウドセンター」を開設しました。クラウドインフラから「OBIC7シリーズ」の豊富なラインナップすべてを自社一貫体制で提供し、お客様の大切なデータを守り、常にお客様の安定した運用をサポートしています。



オービック御堂筋ビル、2020年春竣工予定

創業の地である大阪に、昨年「オービック御堂筋ビル」を着工しました。大阪市中央区平野町4丁目のビジネス街に、新しい町並み誘導のルールに基づき、高さ・容積緩和・賑わい創出等を地区計画で適用する、御堂筋高さ制限解除第1号として誕生。地上25階、高さ116m、最先端の機能を満たした超高層複合ビルは、2020年春に竣工の予定です。





photo by ©Yoshihiro Iwamoto

株式会社 **オービック**

Web サイト www.obic.co.jp

東京…〒104-8328 東京都中央区京橋 2-4-15

TEL 03-3245-6500

大阪…〒541-0059 大阪市中央区博労町 3-5-1 (御堂筋グランタワー) TEL 06-6245-3231